

2

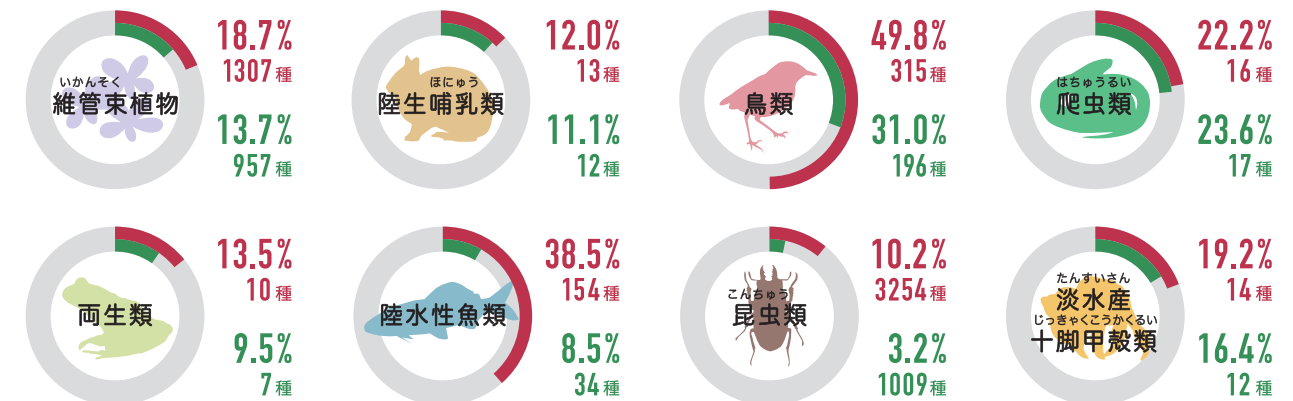
珍しい生き物の宝庫

奄美大島と徳之島の面積は、2島合わせても日本全体の0.26%程度しかありません。しかし、そこにはいろいろな動植物が見られます。そして、その中には世界でもここだけの珍しい生き物もいます。

日本と奄美大島・徳之島の面積比

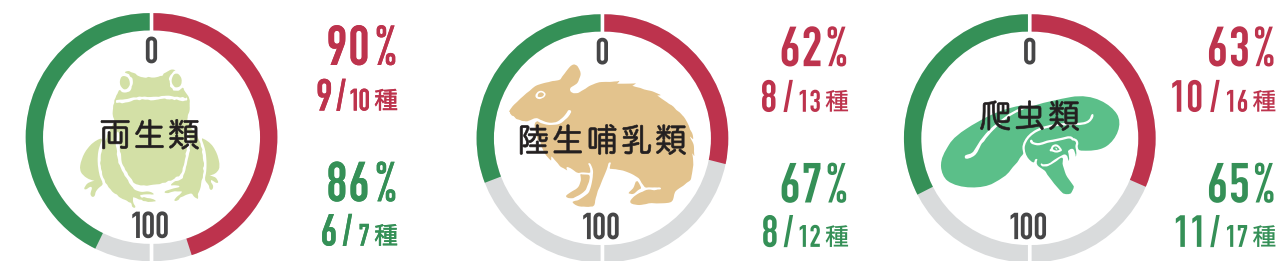


奄美大島と徳之島の生き物の数と日本全体の生き物の数に占める割合



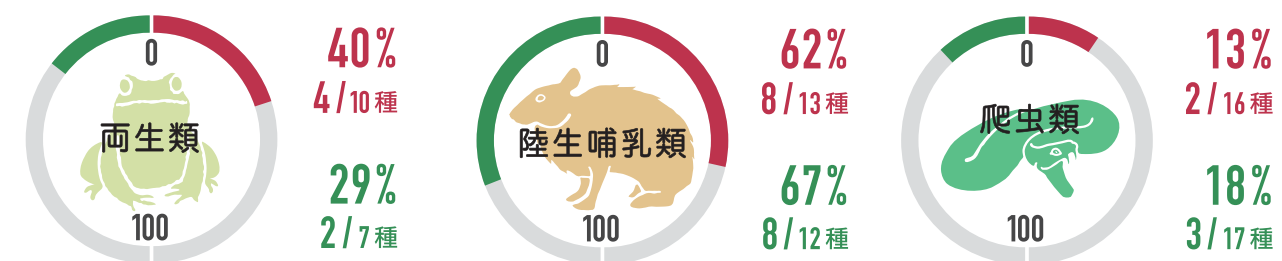
*世界遺産一覧表記載推薦書より

奄美大島と徳之島の生き物のうち、そこにしかない種の割合



*世界遺産一覧表記載推薦書より

奄美大島と徳之島の生き物のうち、絶滅のおそれのある種の割合



*環境省レッドリストより

島の成り立ちや森を育む温暖で湿潤な気候など、様々なことが重なって、世界的にも貴重な生き物や珍しい生き物が暮らしています。

3

珍しい生き物が暮らす理由

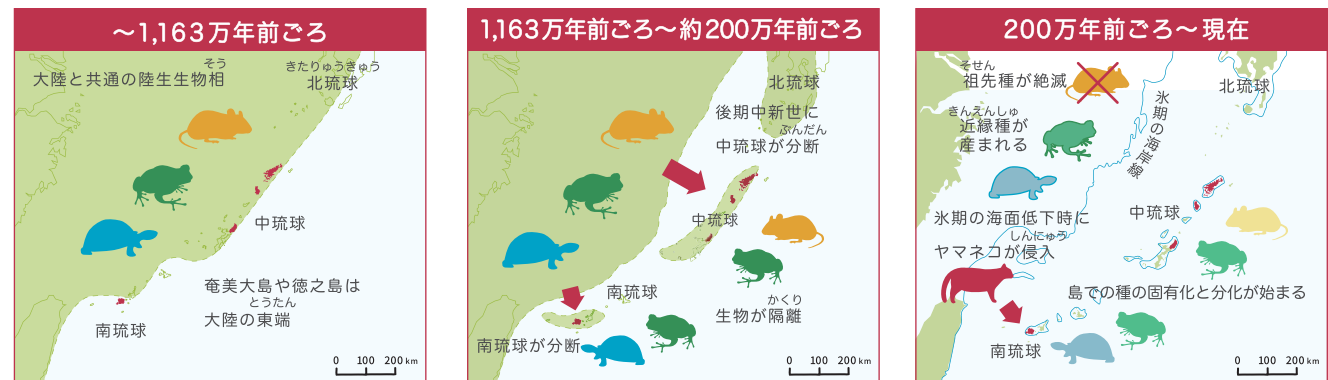
奄美大島と徳之島にたくさんの珍しい生き物が暮らすようになった理由は、島が形づく

1 島が形づくられた歴史と生き物

奄美群島は、かつてはユーラシア大陸や日本本土と陸続きでしたが、約200万年前までに大陸から切り離され、その後現在の島へと分かれていきました。

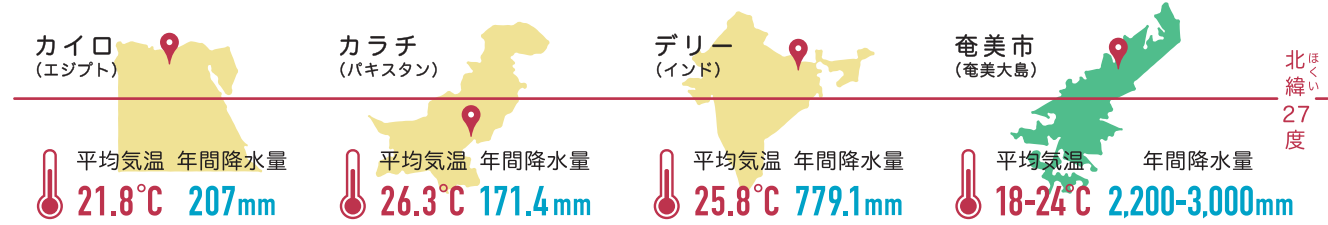
その後、ある生き物は、大陸や日本本土で絶滅しましたが、環境の変化に対応したり、天敵がいなかったことなどから奄美大島や徳之島では生き残りました。その代表的な生き物が、奄美大島と徳之島にしかないアマミノクロウサギです。

大陸から切り離された後、奄美大島と徳之島は、近くの島々とくっついたり離れたりしながら現在の姿となり、生き物たちは、それぞれの島の条件に適応するために進化していきました。その代表的な生き物が、アマミトゲネズミやトクノシマトゲネズミです。



2 島の気候と生き物

奄美群島は、高温の夏と比較的温和な冬がある亜熱帯気候に属します。世界の亜熱帯地域の多くは砂漠などの乾燥地帯になっています。しかし、奄美大島と徳之島には、島のそばを流れる暖かい黒潮と湿った風であるモンスーンが雨をもたらし、常緑広葉樹の森が発達しています。



※東京都の年間降水量 1,400~2,200mm。平均気温 15.9℃。

COLUMN 02

徳川家の家紋「三つ葉葵」を御存知の方は多いでしょう。さて、この家紋のモチーフとなったのがカンアオイという植物の葉っぱです。...



写真提供 上：環境省奄美野生生物保護センター 下：服部正策